

# まちづくり基本条例の概要

大口町まちづくり基本条例は、大口町のまちづくりの基本的な理念やルールなどを明らかにしたもので、地域の皆さんをはじめとするまちづくりの担い手と、町議会、行政が一体となって「参加」と「参画」のまちづくりを進める基本規範となるものです。



おおくち光燈路

## 「まちづくり基本条例」の6つの制度

### 意見や提案を町政へ

#### 1 まちづくり提案会議

みなさんからのまちづくり提案を、提案者と一緒になって考えます。

#### 2 政策検討会議

重要な条例や計画等を定めるときは、みなさんに説明し、直接、意見や提案を伺います。

#### 3 意見公募手続

重要な条例や計画等を定めるときは、事前に案を公表し、メール等で意見や提案を伺います。

※ 政策検討会議と意見公募手続のいずれか一方を選択することができます。



令和元年度 地域懇談会

### まちづくりの情報を共有

#### 4 出前対話

みなさんの要望に応じて、町の事業などの説明や意見交換を行います。

### 夢を描き語り合う

#### 5 地域懇談会

まちの将来像やまちづくりの方針について、テーマを設けて、懇談する機会をつくります。

令和元年度のテーマ  
「2025年、あなたは大口町はどうなっている？」

### 意志を直接示す

#### 6 住民投票制度

まちの将来に大きな影響を及ぼすような重大な案件の賛否を、「住民投票」で意思表示することができます。

# 「協働」への取り組み



町民体育祭



夏休みチャレンジ講座2019(将棋教室)

2018

(平成30年)

大口町これからの地域づくり検討委員会設置「まちづくり座談会」がスタート

2016

(平成28年)

第7次大口町総合計画

2014

(平成26年)

大口町議会基本条例を制定(平成27年5月施行)

2013

(平成25年)

町内全ての地域で地域自治組織が設立

2011

(平成23年)

大口町まちづくりを考える会から新たな地域自治組織による協働のまちづくり提案書が提出される

2010

(平成22年)

町民活動プレセンターから町民活動センターに改める

2009

(平成21年)

大口町まちづくり基本条例を制定(平成21年6月施行)  
町民活動プレセンター「まかせて広場」オープン

2006

(平成18年)

第6次大口町総合計画「まちづくり応援の仕組み」がスタート

2005

(平成17年)

NPO・ボランティア活動促進の提言書がNPO活動促進委員から提出される

2003

(平成15年)

元気なまちづくり活動推進要綱を制定(平成18年「まちづくり応援の仕組み」へ移行)

2000

(平成12年)

NPO活動促進条例を制定(平成12年6月施行)

1999

(平成11年)

情報公開条例を制定(平成12年4月施行)



大口町地区別対抗 グラウンド・ゴルフ大会



第18回 やろ舞い大祭



### 基本目標①

## 次代を担う 子ども・若者の育成

子育てや子ども・若者を地域全体で見守り育むことで、子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるとともに、学校・地域・家庭の連携による教育力の向上を通じて、子どもたちの確かな学力や個性を伸ばし、自立して生き抜く力を育むことで、大口町の次代を担う人づくりを推進します。

### 基本目標②

## 健康で安心な暮らし

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れたこの大口町でいきいきと自分らしく生活できるように、ライフステージに応じた健康づくりに取り組むことができる環境を整えるとともに、医療や福祉、介護等の関係機関との連携による包括的な支援体制の構築と、適切な医療・介護サービスの提供に努めます。

また、身近な暮らしにおける支え合い・助け合いの地域福祉を充実させるとともに、各種社会保障制度の啓発と適正な運用を進めることで、安心して暮らし続けられる環境づくりを推進します。





### 基本目標③

## 災害や犯罪に強く 豊かな生活基盤を 創造する

災害や犯罪、交通事故などから住民の大切な生命や財産を守るために、災害に強い都市基盤の整備を進めるとともに、関係者間の連携を通じて地域の自主的な防災・防犯・交通安全活動の一層の充実を図り、安心して暮らせる安全なまちづくりを進めます。

また、豊かで快適な日常生活や地域経済の発展を支えるために、効率性や安全性、環境に配慮した道路環境の整備や、既存ストックを活かした計画的かつ魅力的な市街地形成、安全・安心な住まいの確保、衛生的で良好な水辺環境づくりを進めます。

### 基本目標④

## 人の知恵・技・情報が 活きる元気コミュニティを創造する



より多くの住民が、地域での居場所や仲間を得て、生涯を通じて生きがいを持って暮らすことができるように、住民の主体的な生涯学習・スポーツ活動の充実に努めるとともに、地域に根ざした歴史・文化資源の保全及び次世代への継承、図書館を核としたひと・モノ・情報・文化の交流などを推進します。

また、性別や国籍、文化の違いを問わず、誰もが地域社会の一員として互いに尊重し協力し合えるように、男女共同参画や国際交流、多文化共生を推進し、多様性を認め合える活力あるコミュニティの創造に努めます。



### 基本目標⑤

## 未来へと引き継ぐ 環境保全と まちの活力を創造する

未来に向けて、豊かな自然環境や快適な住環境を継承していくために、ごみの減量やリサイクル、環境衛生の推進、生物多様性の保全などにより、環境負荷の少ない循環型地域社会の形成に努めるとともに、身近な農地や河川、公園、緑地などの自然環境の保全、整備により、うるおいのあるまちづくりを進めます。

また、本町の成長力の源となる農業・商業・工業のバランスのとれた地域産業の活性化に向けて、産業集積や交通便利性などの強みを活かした新たな産業の誘致や育成、既存企業の高度化や人材育成・確保等を進め、合わせて安定した雇用機会の確保・創出に努めます。

※人(住民)をまちの「財(=宝)として捉え、「人材」を「人材」と表現しています。

### 基本目標⑥

## 持続可能な地域経営

将来世代に負担を残すことのない持続可能な地域経営を推進するために、行政区や地域自治組織の組織・活動の強化・充実を図るとともに、まちづくり団体やNPO等の活動支援などにより、自立と協働のまちづくりを一層推進します。

また、住民の満足度の高い効率的かつ効果的な行政経営と健全な財政運営に向けて、継続的な行政改革と民間活力の積極的な導入に努めるとともに、多様な媒体や手段による広報・広聴の充実、情報公開と個人情報保護の適切な運用等により、住民の意向を反映した透明性の高い施策・事業を推進します。



# まちづくり戦略

人口減少時代・超高齢社会を迎え、本町が将来にわたって持続的に発展していく上で今なすべきこととして必要不可欠な3つのテーマを「まちづくり戦略」として設定しました。様々な分野に横断する「まちづくり戦略」に基づき、相乗効果を発揮させながら各施策・事業を実施していきます。

## 若い世代の定住・子育て支援

バランスある人口構成を  
持続させていくための戦略

- 実施方針1 子育て世代の移住・定住の促進
- 実施方針2 子どもを産み育てるサポート体制の充実
- 実施方針3 将来に夢が持てる確かな学びの推進

## 健やかな暮らしづくり

安心・幸せな健康長寿社会形成のための戦略

- 実施方針1 健康寿命の延伸
- 実施方針2 住み慣れた地域で安心して住み続けられる  
地域福祉活動の推進
- 実施方針3 持続可能な地域経営・行政経営の推進

## 活力ある産業づくり

将来世代の経済的な豊かさのための戦略

- 実施方針1 既存産業の売上アップ
- 実施方針2 新たな企業の立地促進
- 実施方針3 優秀な労働力の持続的な確保





## 表紙：エドヒガン 津島社（八佐）

大口町内には、100年以上前から咲いている桜があります。「八佐の津島社」、「高橋の諏訪神社」及び「新田」にある桜です。この3本をDNA鑑定したところ「エドヒガン」の分類でした。さらに、調査機関の主要品種データベースに同じDNAの登録がなく、「八佐」と「高橋」の桜は遺伝的に近縁であることも判明しました。「エドヒガン」は、「ソメイヨシノ」に比べて寿命が長いことが特長です。大口町では、3本の桜を「大口町古来種の桜」として桜から採取した細胞を培養し、クローンを作り苗木を育てています。この桜を「おおぐち観鋭桜」と命名し、町内に植樹をおこなっています。



企画・編集／大口町総務部秘書広報室 発行／令和2年4月  
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下小口七丁目155番地 TEL／0587-95-1616  
ホームページ <https://www.town.oguchi.lg.jp/>  
Eメール [kouhou@town.oguchi.lg.jp](mailto:kouhou@town.oguchi.lg.jp)



大口町長  
鈴木雅博

我々の責務は、先人の知恵と勇氣に習い、次の時代を担う子や孫のために、この大口町の豊かな暮らしを、より良い形で引き継ぐことです。

「土農工商」という言葉の土は武士ではなく、こころざし（志）の志農工商であると言われたことがあります。その意味を次のように説明する方がいます。

『志ある人がいて、次は生命を守り育てるために一番必要な「農」、その次は、生活に必要な道具を作ってくれる「工」、そして、それらの生産物をスムーズに流通させてくれる「商」である。「志」とは、本来、公務員が持つべきもので、みんなの意思を税金の形で集めて、みんなの幸福のために使うことを考えるための仕事である』と。

この先においても町民の皆様方に「大口町に住んで良かった」、「大口町のことを誇りに思う。」など、より幸せを感じていただくために、志を持って『農工商』すべての事業に力を尽くし、行政運営に取り組んでまいりたいと考えています。

私は、先人が培ってきた自立可能なこのまちを、将来の世代に引き継いでいくため、50年後のまちの礎となる、農業をはじめとする産業振興や生活基盤整備の必要性を掲げ、秩序ある土地利用を堅持する中で、積極的な企業誘致に取り組

でまいりました。

それがやつと2020年度以降に実を結びだし、基幹税である固定資産税が増収となつていく見込みです。

また道路網の整備は、将来展望を持って地道に継続して取り組めば、より良い暮らしの実現につながり、産業も活性化させる、大きな可能性を秘めた「まちづくり」であります。

道路工事に合わせて、夜間であっても安心して暮らせるまちを目指し、防犯灯の設置も進めてまいります。

将来、大口町の税構造が景気に左右されないようにするため、50年前に社本初代町長が行った企業誘致を、再度、積極的に進めてきたことにより、固定資産税が徐々に増収となつていく一方では、社会保障費等も右肩上がりに増えていきます。

職員の知恵と工夫を町政に活かさなければ、厳しい財政運営をととも乗り切っていくことはできません。私は職員とともに一丸となつてこの厳しさを増すであろうフィールドに臨み、行政サービスの向上のため、これまでのやり方にとらわれることなく、効率的な町政運営に努めていきたいと考えております。

（令和2年度「施政方針」から抜粋・再編）





# 自然



町の木 もくせい



町の花 さくら

## 町の位置及び地質・気象

大口町は愛知県の西北部にあり、犬山扇状地の東南部に位置する「木の葉」の形をした町域のまちです。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積は13.61平方キロメートル。海拔40メートルから海拔15メートルのゆるい傾斜になっており、地質は木曾川からの土砂の堆積による沖積層をなし、耕作に適したものとなっています。

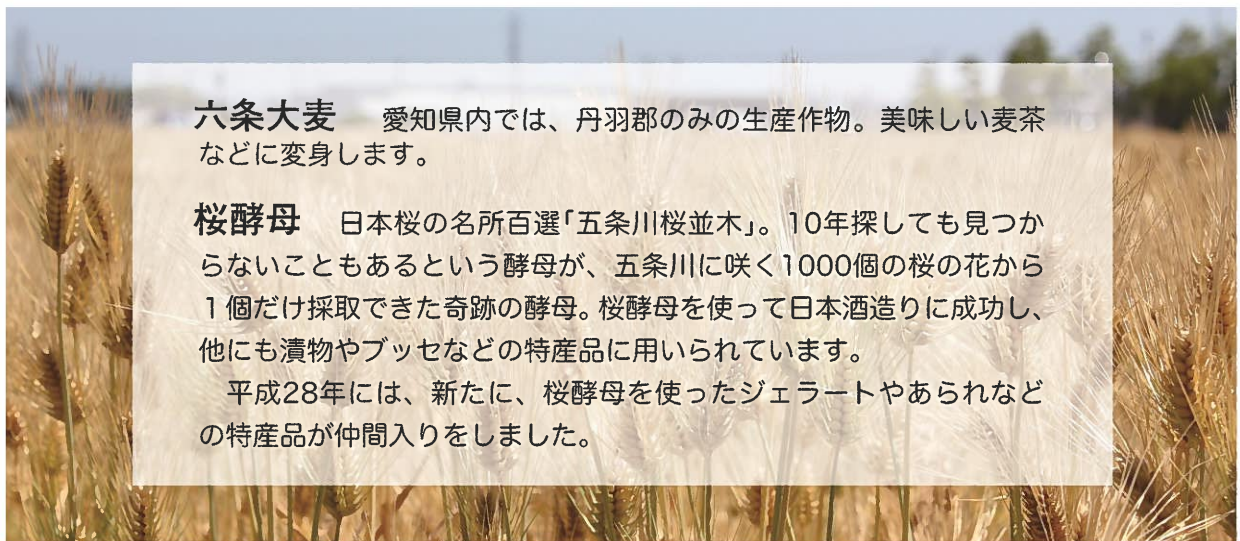
大口町は、年間を通じて比較的温暖で降雨量も適量といえます。しかし、冬場は冷たく乾いた北西風「伊吹おろし」が吹くため、気温以上の寒さを体感します。



# 作物・特産品



1. 桜酵母五条川桜おおくち 2. ジェラート（麦茶・桜） 3. 酒粕プッセ おおくち酒浪漫 4. 麦茶五条川 5. 奈良漬  
6. 桜口サブレ 7. さくらあられ・麦茶あられ 8. 山姫五穀サブレ  
1・3・5・6・8は、ふるさと寄附の返礼品としても活用しています。



**六条大麦** 愛知県内では、丹羽郡のみの生産作物。美味しい麦茶などに変身します。

**桜酵母** 日本桜の名所百選「五条川桜並木」。10年探しても見つからないこともあるという酵母が、五条川に咲く1000個の桜の花から1個だけ採取できた奇跡の酵母。桜酵母を使って日本酒造りに成功し、他にも漬物やプッセなどの特産品に用いられています。

平成28年には、新たに、桜酵母を使ったジェラートやあられなどの特産品が仲間入りをしました。

## 町の沿革

明治22年10月の町村制により、富成村、小口村、太田村の3か村ができました。明治28年に小口村の余野地区が柏森村（現扶桑町柏森）に合併されましたが、明治39年には、富成村、小口村、太田村の3か村と、柏森村の一部であった余野が合併し、現在の大口町の基礎である大口村が誕生しました。

昭和37年4月には、大口村から大口町になりました。

産業では純農村だった町が、昭和30年代から始まった企業誘致策により、現在では、約670社の企業が立地し多くの方が働くまでに発展をしています。

※ 令和元年度 法人町民税均等割納税義務者数

# 文化財

## 史跡



八劔社拝殿

幕末の文久3(1863)年に再築されたもので、明治35年に修理を受けていますが当初の部材を比較的好く残しています。彫刻は妻側に竜と唐獅子、桁側に狩獵図や騎旅図など何かの古事・物語の状景が展開されています。



小口城址公園

小口城の歴史的な移り変わりや出土品などを紹介する「展示棟」、小口城からの眺望を再現する「物見櫓」、歴史的情緒あふれる「門・塀・橋」が皆さんを戦国時代へと誘います。



仁所野遺跡

白山神社境内を中心に弥生時代から古墳時代の墳墓群があり、昭和35年6月8日に大口町指定文化財第1号となりました。



鑄鉄地藏菩薩立像 (汗かき地藏)

長松寺のご本尊で県の指定文化財です。世の中に異変がある時や、信者が災難にあった時には必ず多くの汗をかきといわれています。



徳林寺山門・中門

山門は、犬山城の第一黒門を明治9年に移築したものです。山門の奥に見える中門は文明7(1475)年、小口城主織田広近によって建立されたと伝えられています。

# 松江市・大口市姉妹都市提携

平成27年8月29日、松江城と城下町を整備し、「松江開府の祖」と称される堀尾吉晴公の生誕地が大口市という縁で、姉妹都市提携が結ばれました。400有余年にわたる堀尾吉晴公とのお縁を受け継ぎ、両市町の行政間における情報交換や施策交流、民間交流の更なる拡大を進めています。



国宝松江城マラソン 2019

第2回国宝松江城マラソンに大口市派遣ランナー5名が参加しました。



ふれあいまつり

松江市から「まつえ若武者隊」が来町し、大口市元氣戦隊ダッシュマンとのコラボ舞台を披露しました。



松江だんだん夏踊り

大口市から踊りチームが出かけ、松江市の皆さんと一緒に「oh! やる舞い! 大口市!」を踊りました。



堀尾氏邸宅跡

堀尾吉晴公をはじめとした堀尾氏累代の邸宅跡。堀尾氏は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三英傑に仕え、出雲・隠岐両国 24 万石を領したといわれています。



堀尾跡公園

堀尾金助とその母の「裁断橋物語」をテーマに、子を想う母の心を後世に伝える歴史公園です。  
※金助は堀尾吉晴公の長男といわれています。

# 大口町パノラマ図





大口中学校



歴史民俗資料館(健康文化センター3階)



大口町温水プール



大口南小学校



大口西小学校

岐阜県各務ヶ原  
航空自衛隊岐阜基地

扶桑町

江南市

五条川

国道  
155  
ROUTE

2020年

# 三二町勢要覧

三二町  
笑顔を咲かす